

全労連社会保障闘争本部ニュース

NO.159

全労連社会保障闘争本部発行

2021年5月25日



「いのち署名」採択めざす 5.20 中央行動 21万筆提出(5月20日時点) 団体集約 63万筆 賛同紹介議員 133人・自治体決議 197

5月20日、全労連・国民春闘共闘・医団連・医療三単産は、昨年秋から取り組んできた、「いのち署名」を紹介議員に提出を行い、会場には全体で103人、国会議員11人、秘書8人が参加しました。署名は、累計55万2465筆国会提出、団体集約では約63万（重複含む）となっています。介護署名は、2万を超える署名を提出し、累計23万2593筆となりました。

主催者挨拶で、小畑雅子全労連・国民春闘共闘代表幹事は、「コロナ禍の今こそ、求められているのは、医療体制の拡充と充実であり、病床削減は必要ありません。公立公的病院の統廃合や地域医療構想は見直すべきです」と強調。国民と共同し運動を広げていきたいと思います」と訴えました。

「いのち署名」の項目を実現させることが、新型コロナ感染拡大の備え

日本医労連の森田進書記長は行動提起の中で、「いのち署名」の5項目を実現させることこ

それが、今後も脅威を広げるであろう、新興・再興ウイルスによる感染症に対して、なくてはならない備えであることを強調しました。

賛同紹介議員 133 人・自治体決議 197 に

「いのち署名」は、医療・介護・福祉の財源確保や公立・公的病院の統合再編見直し、充実を求めたもので賛同紹介議員には与野党合わせて 133 人となっています。また自治体決議は 197 まで増えました。

#いのちまもる Twitter キャンペーン第 2 弾

全労連では、署名提出に向けて、5 月 9 日（日）～16 日（日）の「看護週間」を #いのちまもる 全国一斉行動ゾーンとして、2 月のキャンペーンに続き第 2 弾 Twitter デモを行いました。今回は、キャンペーンを延長し、連日病床削減法案に反対する Twitter も、20 日まで連日発信しました。連日リツイート、いいねが増え、社会保障の重要性を伝えることに繋がりました。

「病床削減法案」可決 断固反対！今こそ医療介護福祉の拡充を

全労連では、この間、病床削減推進法案に反対し、衆議院での参考人質疑への推薦、全国会議員・いのち署名紹介議員への FAX 要請、緊急院内集会、衆・参厚労委員への要請、その都度、事務局長談話を発信してきました。また Twitter でも、連日反対を訴えました。

5 月 20 日、参議院厚労委員会、可決された「病床削減推進法案」に反対したのは、日本共産党と立憲民主党のみとなり、自民、公明、維新、国民民主各党が賛成しました。

参議員では、21 の附帯決議（衆議院 10 附帯決議）が出されましたが、衆議院と同様、「医師の増員」は一字一句も入っていません。また、医師の業務を他職種に移行することを「推進」と記載されており、看過できない内容です。

コロナ禍で、明らかになったのは、日本の医療提供体制の脆弱な状況です。社会保障を充実させる目的で 1989 年 4 月 1 日に導入した「消費税」195 億円が、病床削減に使われるのはもってのほかです。加えて、医師の時間外労働 1860 時間は、過労死ラインの 2 倍であり、医師の過労死を推進ものであり許すことはできません。

私たちが、今、必要としているのは、安全・安心の医療・公衆衛生体制です。現場の医療従事者は、緊張の連続の中、「いのちをまもる」ために日々奮闘しています。

全労連は、本来あるべき医療政策の再考を求め、コロナ禍の今こそ、国は責任を持って、医師・看護師・保健師・介護士等を増員し、医療・公衆衛生体制を直ちに拡充するよう強く求めます。

記入済の「いのち署名」「介護署名」が、まだお手元にある組織は、全労連へ送って頂きますよう、宜しくお願いします。